

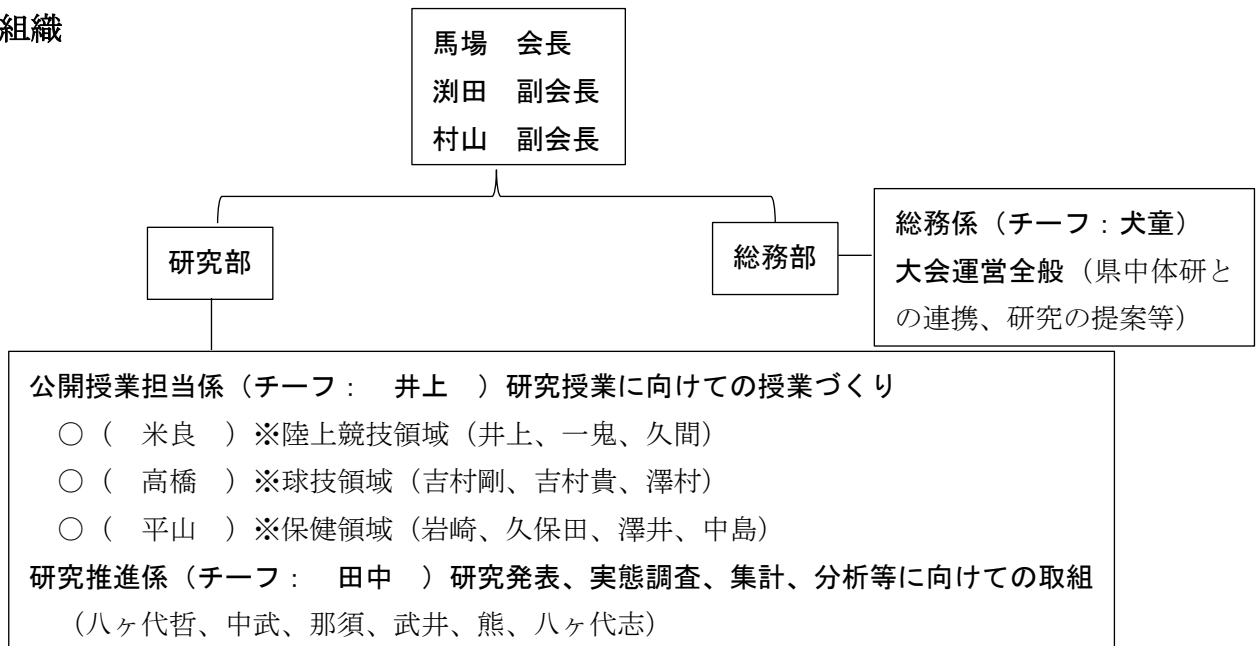
人吉球磨中体研

理事長 犬童 耕平

1 はじめに

今年度の人吉球磨郡市は、馬場哲也会長（多良木中学校）を中心に12校の保健体育科担当で構成されている。令和5年度の熊本県中学校保健体育研究発表大会（人吉球磨）に向けて、実践・研究を進めていきたい。

2 研究組織



3 活動状況

	会議	期日	内容
1	第1回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	5月30日 (月)	研究組織・研究テーマ、 本年度の研究内容協議
2	第3回人吉球磨体育研究会 (小中合同)	11月25日 (金)	人吉市立第二中学校 授業研究会
3	第4回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	1月17日 (火)	本年度の取組の総括、 来年度に向けての協議

4 研究テーマ

<人吉球磨体育研究会（中学部会）研究テーマ>

『主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育科学習の在り方』
～全ての生徒が達成感を味わえる協働的な学習の工夫～

5 研究の概要

○ 小体研との合同授業研究会

人吉球磨郡市では、隔年で小学校と中学校の保健体育科授業研究会を行っている。令和4年11月25日（金）に人吉市立第二中学校で小体研との合同授業研究会を実施した。授業内容は、第3学年「C 陸上競技領域 リレー」だった。



前時とのつながりを意識した導入の工夫



主運動につながる基礎感覚づくり



それぞれの役割を明確にしたグループ学習



録画された動きを見てメンバーと課題の共有



指導者の専門性を活かした的確なアドバイス



小・中学校体育担当者合同で授業研究会

【授業研究会での成果】

- ・走力や人間関係等に考慮した入念なグルーピングを行ったことで、グループ内の教え合いや活動の活性化につながった。
- ・グループ内の役割分担が明確になっていた（タブレット担当、タイム測定担当等）ことで、スムーズな活動につながった。
- ・適宜授業者がポジティブな声掛けをしたり、雰囲気盛り上げたりしたことで、苦手な生徒も意欲的に活動することができた。

6 まとめ

『全ての生徒が達成感を味わえる協働的な学習』を目指した研究の第一歩となった小中合同授業研究会では、小学校体育担当者の多様な視点からも議論が進み、大変有意義なものとなった。

次年度に控える熊本県中学校保健体育研究大会に向け、年度内に再度研究の振り返りを行い、新年度から早速実践、分析等に取り組めるよう準備をしていきたい。